

会誌「情報処理」53巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第 27 条，第 28 条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2011年11月1日（火）（必着）

結果通知 2011年11月中旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.52 No.8 (Aug. 2011)

【特集：組込み / リアルタイムソフトウェア】

- 特集「組込み / リアルタイムソフトウェア」の編集にあたって
中島達夫, 岸 知二
- Simultaneous Virtual-Machine Logging and Replay
Shuichi Oikawa 他
- Making a Virtual Machine Monitor Interruptible
Megumi Ito 他
- Rate Monotonic に基づく拡張インプリサイスタスク用リアルタイムスケジューリング
千代浩之 他
- A Library-based Performance Tool for Multicore Pervasive Servers
Sayaka Akioka 他

【一般論文】

- 時間保護のためのタスク起動遅延付き階層型スケジューリングアルゴリズム
松原 豊 他
- 階層的ライセンス知識を用いたライセンス特定ツールの開発
真鍋雄貴 他
- 細胞モデルの微分代数方程式に対する可解な計算条件の効率的設定手法
嶋吉隆夫 他

- 有界モデル検査法を用いたCプログラムのモジュラー検証
橋本祐介 他
- オフセット付き CAN メッセージの正確な最大遅れ時間解析
倉地 亮 他
- Chord ネットワークに配置された配列に対する並列範囲アクセス
福地大輔 他
- サンプリング制御とデータ補完による行動認識システムの省電力化手法
中島悠貴 他
- 量子もつれ状態を模倣した二匹のアリにおける協調行動と集合的意思決定における一解釈 †
中山 茂 他
- HTML 要素に基づく有害サイト検出手法*
池田和史 他
- ファインダと一体化した画像読み取りユニットにおける2次元コード取得を題材とした操作性評価
前田篤彦 他
- 一般的な概念辞書を用いたなぞなぞ質問文生成システム
金久保正明

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note



■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事 業/国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

第73回全国大会 「情報処理学会推奨 卒業論文・修士論文認定者」

「情報処理学会推奨卒業論文・修士論文認定制度」認定候補者選定手続きに基づいて認定候補者を選定し（委員長 佐藤三久）、2011年4月20日の理事会 Web 審議へ報告、承認を経て、その後所定の認定手続きを完了した以下の者を認定者いたしました。

卒業論文認定者数：53名（対象数371名）

修士論文認定者数：17名（対象数149名）

【卒業論文認定者】

- 芦野健太郎君 「水産物仲卸業における仕入れ・販売業務支援システムの構築」
- 池田 信一君 「項目反応理論を用いた類似問題群からの適応的なテスト出題方式に関する検討」
- 伊東 拓矢君 「グループベースのサービス提供に向けたグループ同行度推定システムの設計と実装」
- 上田 和英君 「皮膚表面上を流れ落ちる血液のビジュアルシミュレーション」
- 上村 大輔君 「配信王国一仮想空間におけるストーリーミング動画配信」
- 漆畑 龍典君 「音声情報を用いたエンターテインメント動画のシーン分析と評価」
- 大江 龍人君 「わくこん：3Dモデリングのためのわく型入力装置」
- 大垣 慶介君 「統計的特徴量変換に基づく日本語手書き漢字合成」
- 岡 龍太君 「位置特定インフラ専用無線LANアクセスポイントの試作と測位精度制御の検討評価」
- 掛井 将平君 「端末内のイベント発生時刻保証のためのTPMとタイムスタンプサービスの連携」
- 掛布 朋宏君 「Webカメラを用いたステガノグラフィによる送信者確認機能付きデータ秘匿伝送方式」
- 笠江優美子君 「Eucalyptusを用いたプライベートクラウドの消費電力量評価に関する一検討」
- 柏原 忠和君 「遠隔コミュニケーションの為のウェアラブルロボットアバタの提案」
- 加藤慎一郎君 「Webカメラを用いたユーザ独自のタッチインターフェース作成支援システム」
- 加茂 浩之君 「AiR surface: 拡張現実感を用いた仮想タッチパネルインタフェース」
- 河内 沙織君 「Wikipedia カテゴリおよび自己相互情報量に基づく関連検索キーワード生成による知識拡充支援」
- 川口 将吾君 「歩み寄り戦略に基づく自動交渉エージェントの交渉過程の解析と評価」
- 川原 啓輔君 「個人酪農家を対象とした業務支援システムの構築」
- 神田 尚希君 「トリックアート制作手法の検討」
- 完山 和希君 「片方向リンクを含む無線ネットワークへのネットワークコーディングに関する検討」
- 北島 理沙君 「文書内のイベントを対象にした潜在的トピック抽出手法の提案」
- 北島 理沙君 「文書内のイベントを対象にした潜在的ディリクレ配分法によるクエリに特化した要約」
- 熊谷 彩夏君 「AVMデータのリアルタイムでのマイニングを導入した、タクシーの待ち/流し位置レコメンドーション」
- 小泉 陽子君 「SNSにおける個人情報の抽出に関する研究」
- 小林 嵩史君 「「畳織り」金網のろ過性能算出ツールの提案」

- 小松 直樹君 「アノテートによる単語情報を活用したプレゼンテーションにおけるリアルタイム相互支援システムの提案と実装」
- 澤村 啓太君 「電子トリアージシステムにおけるモバイルノードを用いたRSSI位置推定に関する研究」
- 篠田 昭人君 「TPMに基づく端末認証のための公開鍵証明書の発行支援」
- 杉本 拓弥君 「完全グラフによる異ジャンル間の嗜好傾向表現と協調フィルタリングの発見性向上への応用」
- 杉山 雅人君 「広域道路網を対象としたマルチエージェント信号制御」
- 曾我紗知子君 「進化計算を用いたロボットの行動学習に関する一考察」
- 高田 雄太君 「Web感染型マルウェアのリダイレクト解析」
- 高野 圭司君 「2頂点間ネットワーク信頼度の計算法と解析」
- 棚瀬 直政君 「パネルの遊びから押せる場所が分かるタッチディスプレイの開発」
- 田村 亘君 「研究室における学生の研究活動支援システムの開発」
- 千葉 大紀君 「SVMによるIP攻撃通信の判別法」
- 永塚 智之君 「CoreSymphonyにおける分岐予測器の分散化」
- 荻原 勇一君 「UDに配慮した観光情報システムにおけるCMSの開発」
- 早川 薫君 「プラットフォーム遠隔認証」
- 林 千博君 「動的モデルに着目したRich Internet ApplicationのRound-Trip Engineering支援」
- 福井 達也君 「サーベイ論文の解析結果を用いた文献分類手法の提案」
- 福原 遼君 「多人数による携帯カメラ撮影を利用した現場状況サマリー作成に関する研究」
- 本間 皇成君 「チームプログラミングを可能とした教育支援システムの開発」
- 牧 慶子君 「動的コンテキストウェアサービス提供モデルの提案」
- 松野 智明君 「無線センサネットワークを利用した農業支援環境の見える化の実現と評価」
- 三矢 慶子君 「コーディネーション相談システムの提案」
- 村田 哲史君 「小型プロジェクタを用いたウェアラブル歩行支援器のための投影情報安定化手法」
- 本橋 早織君 「ボール・ピン確率モデルの拡張とその応用」
- 森田 祐衣君 「百人eye首：視線に基づく行動予測でレベル制御するテーブルトップ対戦型百人一首ゲーム」
- 八坂 俊君 「交配に基づく2Dモデリングインタフェース」
- 柳田 尚明君 「広告手法の特徴に基づくクチコミの分類に関する研究」
- 若林 克磨君 「多段階識別を用いた工事写真からの手書き文字認識に関する研究」
- 渡邊 輝君 「ARToolKitを用いたオーディオプレイヤーインターフェースの開発」

【修士論文認定者】

- 浅井 勇貴君 「幼児教育を対象としたコミュニケーション支援システムの構築」
- 伊藤 淳君 「Web上のHTML文書を利用した辞書拡張」
- 大塚 琢馬君 「累積頻度重みを適用したパーティクルフィルタによる実時間楽譜追従」
- 粕谷 貴志君 「多数決で進行するボードゲームのプレイヤーの進化的生成」
- 川上あゆみ君 「otPet: ベットのようなコミュニケーションをはかる植木鉢型ロボット」

- 倉林 雅君 「センサを活用した都市空間の歩行シミュレーション」
- 後藤 達弥君 「複数観点からのコンテンツ列挙型書籍検索インタフェース」
- 櫻井 元晴君 「インフォーマルコミュニケーション誘発のための Web ブラウザ上での他者の可視化手法の検討」
- 高橋 剛史君 「酪農における業務支援システムの構築」
- 高前田伸也君 「HW メニューコアシミュレータ ScalableCore システムの高速化」
- 鄭 寧君 「家系図の視覚化：時系列の直系検索機能を持つ親族検索システム」
- 早坂 智行君 「多項式しきい値関数密度の上界の改善」
- 日下 航君 「神経回路モデルによる言語とロボット動作の相互理想学習」

- 宮澤 佑樹君 「都市交通における協調的な運轉行動の計算モデル化」
- 安良岡直希君 「調波パラメトリック NMF による楽器演奏音響信号の分析合成」
- 矢田久美子君 「代理読了通知機能のためのメッセージサイズとフォーカスイベントによる既読判定手法」
- 横井 啓介君 「数式構造と周辺テキストの両面を考慮した数式情報抽出」

※ 本誌 52 巻 12 号にて上記「情報処理学会推奨 卒業論文・修士論文」の特集を掲載予定です。



書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の 2 種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書 評 : 過去 2 年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き
 - 1) 表 題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBN を書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先 (住所、E-mail, Fax など) の記載を忘れずに。
 - 3) 本 文: 書評、会議レポートとも 1,700 字前後で書く。
 - 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>) を参照してください。
4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
5. 照会／応募先 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「TOMOSHIBI―地震が来たら―」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「くだらなさ」に呆れ果てている。前回の川柳に続き、この種の話巻頭コラムに使う必要があるのか。(匿名希望)

■情報処理分野以外で活躍されている著名な方々の寄稿を多く掲載することは、研究者および技術者がさまざまな視点から情報処理技術を考えるきっかけとなり、大変良いことと思えます。(匿名希望)

3.11 大震災特別企画「3.11 震災後のメッセージ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■読めたなと思うのは静岡大学の学長の話くらいで、ほかは変哲もない。2部では、東芝と日立の社長の話に関心があつたが絶望した。両社とも福島原発に発電機を納入している会社なのだから、しかるべき言及があるべきだと思う。(匿名希望)

■偉い方のお話よりも、比較的若い研究者の思い、決意を伝えた方が良かったのでは。(匿名希望)

■震災時の入学式、入社式の特集はとても良かったです。会誌を読んで涙が出たのは初めてです。こういう形でちょっと感動できるものがあると、読みやすくて良いです。(匿名希望)

3.11 大震災特別企画「インタラクシオン 2011 開催報告～東日本大地震による避難体験を中心に～」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■この会は会期中に震災の影響で中止になっただけで、場所的にも震災地ではない。私の同僚の中には東北大学で被災し、避難所暮らしを経験した者もいる。そうした人たちの体験談の方が、震災の切迫感等をより伝えられたのではないかと。情報源を身近な範囲に限定することで弊害が出ている。(匿名希望)

■3月11日の活動状況がよく分かって良かった。(西崎 亨)

■非常にタイムリーな記事だと思います。ITが貢献できることはもっとないのか、と考えさせられました。(匿名希望)

特集「時間とコンピュータ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■一見突飛なテーマだがとても興味のある問題だ。「生物学の中の時間」も面白いテーマだが、ページが少なすぎてやや分かりにくいのは残念だ。「アルゴの国」でNPの話を楽しくと期待したが、これも紙面が短く、入口のまた入口にとどまったことも残念である。(匿名希望)

■各方面からの切り込みが面白く読めた。ただし、少数が多すぎる。半分程度の数にしても、バラエティ性は大丈夫だと思う。(五味 弘)

■個別には面白い記事もありますが、特集としては散漫と感じました。毎回1つずつ掲載した方が良かったのではないのでしょうか。(米澤 恵)

■内容が多岐で面白かったが、分散しすぎている気がした。(南保英孝)

■時間をキーワードに、さまざまな意見を読むことができました。ただ、あまりに多様で、自分自身の考えをめぐらせることに苦労しました。思考を支援してくれる解説やまとめがあると助かります。(阿南佳之)

■哲学的内容で、時間についてとても考えさせられた。(小松久美子)

特集「クラウドを支えるデータストレージ技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■会誌の最大の目的の1つは、現在話題の技術動向や関連分野を平易に解説するとともに、学生などに興味を持たせ、その分野の書物を読んでみようと思わせることにあると思う。その意味で、「クラウドストレージ標準化の最新動向」はよくまとまっている。(匿名希望)

■身近に接する学生に、この記事だけは注意して読むように伝えることにしている。今後も、学生に意欲を起こさせるような企画を計画してほしい。(匿名希望)

■世間で使われている現実的なアプリケーションについて解説があるのは良い。さらなる向上のため、より高い鮮度の情報を期待します。(匿名希望)

■震災を機にしたディザスタリカバリ (DR) 対策も合わせ、継続して取り上げていただきたい。(匿名希望)

■クラウド特集の「ROMAの概要と～」は、楽天で使われている(企業名を出さなくてもこういったサービスで使われている)ということがタイトルに入っていると、何を指向した技術の話かが分かり、興味が出たと思います。(米澤 恵)

■ SEにとってクラウドは最大の関心事であり、非常に役に立った。技術のこれからの方向性をコンパクトな形で読めるので、こうした特集はビジネスの現場にいる者にとって大変に助かる。(匿名希望)

■ データクラウドの話は、自分の研究分野に直結しており興味深かった。ただ、もう少し技術的に掘り下げた記事を増やしてもよいのではないかと。(匿名希望)

解説「渋滞の減少に貢献する道路交通情報の技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 今では誰もが利用している身近なシステムについて、その仕組みを知ることができて面白かった。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：科学者・技術者の社会的責任」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 読んでいて腹立たしくなった。典型的な「学者」の愚痴であり、面白くもなければ問題提起でもない。「好き放題」の談話ページだから仕方ないのかもしれない。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■ JABEE認定カリキュラムを修了した学生が、実社会において(JABEE認定ではないカリキュラムを履修した学生よりも)高く評価されている現状を、産業界の第一線、とりわけ、企業の採用・人事担当者から具体的な事例を交えつつ紹介してほしい。(水野光朗)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ 特集が2件あっても量が多いため、興味があるものを選択して読むことになりませんが、読み残したものを後で読むことはほとんどありません。特集は1件でよいと思います。(匿名希望)

■ 冊子としてのキャッチコピー、表紙レイアウトは申し分ない。しかしながら、学会誌であることから文章表現が論文体から脱していないため、読み手が疲れてしまう場合が多々ある。極端に評価すれば、成果発表会論文である。読者を唸らせる文体が欲しい。(今給黎道明)

■ 博士号保持の若手研究者が、どこで何をしているのかをまとめた記事を希望いたします。(小島孝夫)

■ 内容を詰め込みすぎと感じます。会報誌としては必要な内容なのかもしれませんが、企業人としては時間も限られた中、普通の雑誌では入手しにくいアカデミックかつ実用性もある内容を期待したいので、情報処理学会ならではの工夫をいただけると幸いです。(匿名希望)

■ 高校でどう「情報」を教育するかは、情報系への進学意欲にも大きく影響します。学会にとっても、大きな影響のある問題だと思います。(井上美智子)

【本欄担当 内澤 啓、久保 健/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限のため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「パズルの数理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-R.html	8月31日(水)		
	論文誌「知能情報技術の新しい応用と基礎」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-P.html	9月9日(金)		
	デジタルプラクティス「高度IT資格制度」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/15dp/bosyu/dp0302s.html	9月26日(月)		
	論文誌「社会を元気にするICT」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-T.html	10月10日(月)		
	会誌「情報処理」53巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu53.html	11月1日(火)		
	論文誌「スマートな社会を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-Q.html	11月30日(水)		
8月18日(木)～	情報教育シンポジウム2011(SSS2011) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2011	5月23日(月)	当日可	岡山いこいの村
8月20日(土)～	平成23年度電気関係学会東北支部連合大会	6月24日(金)		東北学院大学多賀城キャンパス
8月25日(木)～	平成23年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月24日(金)		東北学院大学多賀城キャンパス
8月26日(金)	第21回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EC21.html	7月1日(金)	当日のみ	北海道大学
8月30日(火)	第21回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EC21.html	7月1日(金)	当日のみ	北海道大学
8月31日(水)～	DAシンポジウム2011-システムLSI設計技術とDA- 9月1日(木) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-DA2011.html	5月6日(金)	7月15日(金)	ホテル下呂温泉水明館
9月4日(日)～	第144回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CG144.html	6月24日(金)	詳細はWebページで、 宿泊申込メ切:7/12 17時	ホテルグリーンヒル 白浜
9月5日(月)～	第178回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 9月5日(火) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CVIM178.html	6月8日(水)	当日のみ	公立はこだて未来大学
9月6日(火)～	第59回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 9月6日(火) 第2回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MBL59CDS2.html	7月5日(火)	9月2日(金) 今回は会場側の都合で 事前の申込が必要です。	三菱電機情報技術総合 研究所
9月5日(月)～	第117回情報システムと社会環境研究発表会 9月6日(火) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/IS117.html	7月7日(木)	当日のみ	小樽商科大学
9月6日(火)～	第136回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/AL136.html	6月15日(水)	当日のみ	函館市中央図書館
9月7日(水)	平成23年度工学教育連合講演会「サステナブル・ディベロップ メントと工学教育」 http://www.soc.nii.ac.jp/jsee/news_main/rengoh_kouenkai.html		定員になり次第	北海道大学大学院工学 研究院オープンホール
9月7日(水)～	FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム 9月9日(金) http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html			函館大学・函館短期大学
9月12日(月)～	第26回バイオ情報学研究発表会 9月13日(火) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/BIO26.html	7月15日(金)	当日のみ	神戸大学・自然科学 総合研究棟3号館
9月12日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2011 (SES2011) 9月14日(水) http://ytx.ws.hosei.ac.jp/SES2011/	5月10日(火)		東京女子大学
9月15日(木)	連続セミナー 2011 第1回「ソーシャルメディアなどによる コンシューマ参加型インターネットサービスの新たな発展」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
9月15日(木)～	第148回マルチメディア通信と分散処理・第81回グループウェア 9月16日(金) とネットワークサービス・第53回電子化知的財産・社会基盤合同 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/DPS148GN81EIP53.html	7月22日(金)	当日のみ	和歌山商工会議所
9月15日(木)～	第203回自然言語処理研究発表会 9月16日(金) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/NL203.html	7月25日(月)	当日のみ	徳島大学常三島キャン パス工学部
9月15日(木)～	第85回数値モデル化と問題解決研究発表会 9月16日(金) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MPS85.html	7月31日(日)	当日のみ	室蘭工業大学
9月17日(土)～	平成23年度電気関係学会北陸支部連合大会 9月18日(日) http://jhes.fuis.u-fukui.ac.jp	8月2日(火)		福井大学文京 キャンパス
9月21日(水)～	第74回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 9月22日(木) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/AVM74.html		当日のみ	秋田大学手形 キャンパス
9月22日(木)～	平成23年度情報処理学会関西支部支部大会 9月22日(木) http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/sibutaikai_23/	6月24日(金)		大阪大学 中之島センター
9月23日(金)	平成23年度電気関係学会四国支部連合大会 http://sjciee.ymw.ne.jp/index.htm	7月29日(金)	9月2日(金)	阿南工業高等専門学校 (徳島県阿南市)
9月26日(月)	第164回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ICS164.html	8月12日(金)	当日のみ	名古屋大学
9月26日(月)～	平成23年度電気関係学会東海支部連合大会 9月27日(火) http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2011/	7月15日(金)		三重大学
9月26日(月)～	平成23年度(第64回)電気関係学会九州支部連合大会 9月27日(火) http://www.jceee-kyushu.jp/	7月19日(火)		佐賀大学 本庄キャンパス
9月28日(水)	第46回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ITS46.html	7月8日(金)	当日のみ	宇都宮大学 陽東キャンパス
10月1日(土)	情報処理北海道シンポジウム2011 Info-Hokkaido 2011 http://hokkaido.ipsj.or.jp/info2011/	8月26日(金)	9月12日(月)	北見工業大学 アトリウム
10月6日(木)	第131回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/HPCI131.html	7月29日(金)	当日のみ	京都大学 学術情報メ ディアセンター
10月7日(金)～	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2011) 10月9日(日) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-EC2011.html	7月23日(土)	当日のみ	日本科学未来館
10月8日(土)	第92回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CH92.html	8月12日(金)	当日のみ	人間文化研究機構 国立国語研究所

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月11日(火)～	第92回音楽情報科学研究発表会	8月12日(金)	当日のみ	NTT厚木研究開発センター
10月12日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MUS92.html			
10月14日(金)～	第111回コンピュータと教育研究発表会	8月26日(金)	当日のみ	帝京大学 (栃木県宇都宮市)
10月15日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE111.html			
10月19日(水)～	組込みシステムシンポジウム (ESS2011)	6月23日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月21日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-ESS2011.html			
10月22日(土)	平成23年度(第62回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.it-hiroshima.ac.jp/	8月12日(金)		広島工業大学 (広島市佐伯区)
10月24日(月)～	第152回システムLSI設計技術研究発表会	8月15日(月)	当日のみ	一の坊(仙台)
10月25日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLDM152.html			
10月26日(水)	連続セミナー 2011第2回「グリーンICTによるスマートな社会の創出」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
10月28日(金)	第165回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/ICS165.html	9月1日(木)	当日のみ	熱海後楽園ホテル
11月3日(木)	第153回データベースシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/DBS153.html	9月15日(木)	当日のみ	エステック情報ビル
11月4日(金)～	第16回ゲームプログラミングワークショップ 2011 (GPW-11)	7月25日(月)	当日のみ	箱根セミナーハウス
11月6日(日)	http://sig-gi.tanaka.ecc.u-tokyo.ac.jp/			
11月8日(火)～	The Sixth International Workshop on Security (IWSEC2011)			東京大学生産技術研究所
11月10日(木)	http://www.iwsec.org/			コンベンションホール
11月10日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2011	8月26日(金)		南知多温泉郷 海菜館 鮫亭
11月11日(金)	(GN Workshop 2011) http://www.ohta.is.uec.ac.jp/gnws2011/			
11月17日(木)	連続セミナー 2011第3回「コンシューマサービスを支える要素技術と標準化動向」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
11月28日(月)～	第153回システムLSI設計技術研究発表会 (デザインガイア2011)	9月1日(木)	当日のみ	ニューウェルシティ 宮崎
11月30日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLDM153.html			
11月30日(水)～	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2011)	7月12日(火)		立命館大学 朱雀キャンパス
12月1日(木)	http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2011			慶應義塾大学 藤原洋 記念ホール
12月1日(木)～	第4回インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2011)			
12月2日(金)	http://iot.ipsj.or.jp/iots/2011			
12月10日(土)～	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2011」	9月14日(水)	当日可	龍谷大学 大宮キャン パス(京都市下京区)
12月11日(日)	http://jinmoncom.jp/sympo2011/			
12月17日(土)～	第112回コンピュータと教育研究発表会	10月31日(月)	当日のみ	島根大学 (島根県松江市)
12月18日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE112.html			
12月22日(木)	連続セミナー 2011第4回「スマートフォンとコンシューマサービスの新たな展開」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2012年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(火)		
1月24日(火)～	2012年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム (HPCS2012)			名古屋大学 豊田講堂
1月26日(木)	http://hpcs.hpcc.jp/			
1月25日(水)	連続セミナー 2011第5回「通信、放送、ITの連携による新たな コンシューマサービスの出現」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2月4日(土)～	第113回コンピュータと教育研究発表会	12月20日(火)	当日のみ	三重大学 (三重県津市)
2月5日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CE113.html			
2月17日(金)	連続セミナー 2011第6回「センサ、デバイスによる新たな 情報と高度交通システム」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
3月6日(火)～	情報処理学会 第74回全国大会			名古屋工業大学
3月8日(木)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html			
3月15日(木)～	第8回ネットワーク生態学シンポジウム			慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)
3月16日(金)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			
11月11日(日)～	ICPR2012第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	http://www.icpr2012.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 7月15日 会誌「情報処理」53巻表紙デザイン募集
- 7月15日 情報処理の高度化等対処のための刑法等の一部を改正する法律(サイバー刑法、刑事訴訟法)説明会(7月26日)のご案内
- 7月15日 人材募集(8月)を更新しました
- 7月8日 平成24年度予算編成における「科学技術重要施策アクションプラン」に関する意見
- 7月1日 「スマートな社会を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集の論文募集
- 6月24日 【声明】「京」コンピュータの世界一の性能達成について
- 6月24日 「科学技術に関する基本政策について」見直し案に関する意見

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■近畿大学工学部情報学科

- 募集人員 講師または准教授 2名
 専門分野 情報システムまたは情報メディア
 担当科目 情報分野の基礎科目, ソフトウェア工学, 情報セキュリティまたはメディア関連の科目
 応募資格 博士 (または Ph.D) の学位を有する方, 心身が健康であり教育・研究に熱心な方, 大学院担当教員として十分な研究業績を有する方, 大学の管理・運営に対して十分な能力と熱意のある方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 履歴書 (本学部所定の様式), 教育研究業績集計表 (本学部所定の様式), 教育研究業績書 (本学部所定の様式または任意の書式), これまでの研究概要 (A4用紙2000字以内, 任意の書式), 主要論文別刷 (5編, コピー可), 本学における今後の教育・研究に対する抱負 (A4用紙2000字以内, 任意の書式), 推薦書 (自薦も可), または当方から応募者に関する問合せ可能な複数の方の連絡先 (電話番号, E-mail アドレス)
 応募締切 2011年8月31日 (必着)
 送付先/照会先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学工学部情報学科 学科長 田川聖治
 厳封の上, 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留
 *原則, 提出書類は返却いたしません
 その他 詳細は大学の Web ページ (<http://www.kindai.ac.jp/about/saiyo/sci/>) をご覧ください
 また, 本学部所定の様式は大学の Web ページからダウンロードしてください
 改めて健康診断書を願います場合があります

■近畿大学工学部情報システム工学科

- 募集人員 教授もしくは准教授 1名
 専門分野 メディア情報工学に関する分野
 担当科目 マルチメディア情報学概論, コンピュータグラフィクス, 音響情報処理, 情報倫理, 実習 (メディア情報工学関連), 卒業研究他
 応募資格 博士の学位を有し, 専門分野の研究業績があり, 教育研究に熱意があり, 学部・学科の運営に熱心な方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト (著書, 学術論文, 国際会議論文・シンポジウム, その他に分けて記載), (3)主要論文別刷 (コピー可), (4)学会, 社会活動および研究資金獲得状況等, (5)現在までの研究概要 (A4用紙1枚程度), (6)着任後の研究計画および情報システム工学教育に対する抱負 (それぞれ A4用紙1枚程度), (7)意見をお伺いできる方2名の氏名と連絡先 *各1部
 応募締切 2011年9月3日 (必着)
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 京極秀樹
 「情報システム工学科教員応募書類」と朱書し簡易書留
 照会先 情報システム工学科 谷崎隆士 E-mail:tanizaki@hiro.kindai.ac.jp
 その他 詳細は (<http://www.hiro.kindai.ac.jp/saiyo/index.html>) をご覧ください

■名城大学理工学部情報工学科

- 募集人員 准教授または助教 1名
 専門分野 コンピュータサイエンス分野 (ソフトウェア工学, アルゴリズム論, 情報検索, データマイニングと知識発見, 人工知能, ソフトウェア基礎論, プログラミング言語論など)
 担当科目 アルゴリズム・データ構造, ソフトウェア工学, プログラミング演習, データベース, オペレーティングシステム論などから3科目程度を担当
 応募資格 (1)私立大学の現状に即して本学での教育と研究に熱意を有する方, (2)現時点で博士の学位を有する方, (3)コンピュータサイエンス分野において, 研究実績を有する方, (4)複数のプログラミング言語に精通している方, (5)実用レベルのソフトウェア開発経験のある方が望ましい
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)本学所定の様式による履歴書および教育研究業績書(詳しくは下記Webページを参照のこと), (2)主要学術論文別刷(5編, コピー可), (3)今後の「情報工学の教育」, および「情報工学の研究」に対する抱負(それぞれ1000字程度), (6)プログラミングの経験に関する説明書類とその内容を示す資料, (5)応募者の所見が伺える方2名の氏名, 所属, 連絡先を記した書類
 応募締切 2011年9月8日(必着)
 送付先/照会先 〒468-8502 愛知県名古屋市長区塩釜1-501 名城大学理工学部情報工学科 山本修身
 E-mail:osami@meijo-u.ac.jp Tel(052)838-2070 *応募書類の返却を希望する場合は, 切手付き返信用封筒を同封してください
 その他 詳細はWebページ (http://www.meijo-u.ac.jp/guide/saiyo/rikou_jyuhou.html)をご覧ください

■東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科

- 募集人員 助教または講師 1名
 専門分野 分散ネットワーク技術(アドホック・センサネットワーク, P2P), ネットワークアーキテクチャ(通信プロトコル, ネットワーク構成法, 品質, 経路制御等)
 担当科目 分散型ネットワーク/アドホックネットワーク, ネットワークアーキテクチャ, ネットワーク関連実験等
 応募資格 (1)博士の学位(日本における博士の学位と同等と認められる外国の学位を含む)を現に有するか, 着任までに確実に取得できること, (2)学部・学科運営に積極的に協力できること, (3)ネットワーク運用実務に詳しいこと
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト, (3)主要論文, 主要国際会議発表論文等別刷(5編, コピー可), (4)応募の動機, 本学での教育・研究への抱負(A4用紙ワープロ打ち, 1500字程度), (5)推薦者情報および推薦書
 応募締切 2011年9月10日(必着)
 送付先/照会先 〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23 東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科 学科主任 石井啓之
 E-mail:ishii164@tokai.ac.jp Tel(03)3441-1171 (ext.1600)
 その他 詳細はWebページ (<http://www.jt.u-tokai.ac.jp/web.pdf>)をご参照ください

■千葉工業大学工学部電気電子情報工学科

- 募集人員 (a), (b)教授, 准教授または助教(講師), (c)准教授または助教(講師) 各1名(計3名)
 専門分野 (a)信号処理, (b)情報理論(情報・符号理論, 誤り制御など), (c)情報メディア(画像工学など)
 担当科目 (a)信号処理論など, (b)情報理論など, (c)情報システムなど
 応募資格 大学院の研究指導ができる方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(学会誌論文, 国際会議論文, その他論文, 講演論文に分類), 最近5年間の主要論文(3編程度, コピー可), 教育に関する抱負(2000字以内)
 応募締切 2011年9月15日(必着)
 送付先/照会先 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学工学部電気電子情報工学科 教授 岡本良夫
 E-mail:yoshiwo.okamoto@it-chiba.ac.jp Tel(047)478-0358 「電気電子情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *上記の専門分野(a)~(c)から希望するものを選んで明記してください
 *応募書類は原則として返却いたしません。また, 本件の目的以外には使用いたしません
 その他 書類選考の後, プレゼンテーションおよび面接を行います。詳細情報のWebページ (<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/adoption/>)

■明星大学情報学部情報学科

- 募集人員 准教授または助教 1名(助教は任期付き)
- 専門分野 コンピュータシステム, コンピュータアーキテクチャ, 組込みソフトウェア, 論理回路
- 担当科目 コンピュータアーキテクチャ・組込みソフトウェア・情報学実験など
- 応募資格 教育に関しては, 学部学生の基礎から専門までの幅広い授業および学生指導に熱意を持ってあたり, 研究に関しては上記専門分野において高い研究能力を有すること. 博士の学位を持ち, 大学院における研究指導ができること
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 個人調書票および研究業績リスト(本学指定のもの)1部, 主要著書・論文(3編, コピー可), 担当授業予定科目の中から1科目についての講義計画1部, 本学での教育および研究に対する抱負(1200字程度), 可能であれば推薦書および参考意見を聞くことができる方の氏名・所属・連絡先
*応募書類は, 選考の進行状況に応じて追加していただく場合があります
- 応募締切 2011年9月24日(必着)
- 送付先/照会先 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学情報学部 学部長 蓮池和夫
「情報学部教員応募書類在中」と朱書き宅配便または書留 E-mail:hasuike@is.meisei-u.ac.jp
*応募書類は著書以外は返却いたしません
- その他 詳細な応募要項はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/>)を参照ください
本学指定の用紙は, 上記よりダウンロードの上ご使用ください
「JRECIN研究者人材データベース」(<http://jrecin.jst.go.jp/>)にも掲載しております

■東邦大学理学部情報科学科(数理知能科学系)

- 募集人員 教授・准教授・または専任講師 1名
- 専門分野 情報科学・情報処理を数理的な観点から教育・研究できる方. 特に, 確率解析(確率論, 数理統計学, 確率過程論など)をベースとした数理モデルを主な研究分野とし, 応用(たとえば, 情報通信理論, 統計的手法による知識情報処理, 数理経済学, 行動科学などのいずれか)にも精通された方が望ましい
- 担当科目 詳細は本学科Webページ(<http://www.is.sci.toho-u.ac.jp/>)をご参照ください
- 応募資格 博士の学位を有する方. 学部および大学院の教育・研究指導に熱意のある方
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 1)履歴書, 2)業績リスト(学位論文, 原著論文(査読有・無を区別する), その他の著作, 特許などに分類), 3)主要原著論文別刷(5編程度, コピー可), 4)これまでの教育実績(担当科目など)と, 教育への抱負(2000字程度), 5)これまでの研究の概要と, 今後の研究計画(それぞれ2000字程度), 6)応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先(E-mailを含む)
- 応募締切 2011年9月28日(必着)
- 送付先/照会先 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 主任 山内長承
E-mail:yamanouc@is.sci.toho-u.ac.jp Tel(047)472-1176 「数理知能科学系教員応募書類在中」と朱書き簡易書留等

■東邦大学理学部情報科学科(メディア生命科学系)

- 募集人員 教授・准教授・または専任講師 1名
- 専門分野 情報科学・情報処理を応用側の観点から教育・研究できる方. 特に医療・生命科学等の分野への教育・研究を, 既存教員と協力して推進できる方. かつ, 情報科学およびコンピュータに関する基礎科目の教育を担当できる方
- 担当科目 詳細は本学科Webページ(<http://www.is.sci.toho-u.ac.jp/>)をご参照ください
- 応募資格 博士の学位を有する方. 学部および大学院の教育・研究指導に熱意のある方
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 1)履歴書, 2)業績リスト(学位論文, 原著論文(査読有・無を区別する), その他の著作, 特許などに分類), 3)主要原著論文別刷(5編程度, コピー可), 4)これまでの教育実績(担当科目など)と, 教育への抱負(2000字程度), 5)これまでの研究の概要と, 今後の研究計画(それぞれ2000字程度), 6)応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先(E-mailを含む)
- 応募締切 2011年9月28日(必着)
- 送付先/照会先 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 主任 山内長承
E-mail:yamanouc@is.sci.toho-u.ac.jp Tel(047)472-1176 「メディア生命科学系教員応募書類在中」と朱書き簡易書留等

■茨城工業高等専門学校

募集人員	准教授または助教 1名
専門分野	情報処理, ソフトウェア工学にかかわる分野
担当科目	情報処理, プログラム設計, ソフトウェア工学特論, 学生実験, 卒業研究など(所属にかかわらず全学科の学生に対して授業を行います)
応募資格	(1) 学生の教育・指導に熱心で研究と両立可能な方, (2) 博士もしくはPh.Dの学位を有する方(2012年3月までに取得の方), または技術士の資格を有する方
着任時期	2012年4月1日
提出書類	(1) 履歴書(市販用紙に準じる形式のもの, ワープロ可), (2) 研究業績リスト(著書, 論文, 口頭発表, 特許等に分類してください), (3) 製品開発等の実績リスト, (4) 主要研究業績, または製品開発等の実績(研究業績と製品開発等の実績を併せて3件以内, 論文・著書の場合はコピー可, 特許および製品開発等の実績の場合は400字程度の概要), (5) 教育業績リスト(教育経験のある方), (6) これまでに行ってきた研究または業務と着任後の研究計画(1000字程度), (7) 着任後の教育および学生指導に対する抱負(1000字程度), (8) 英語力を示すもの(在外経験の有無, TOEIC得点, TOEFL得点など), (9) 照会できる方2名の連絡先情報
応募締切	2011年9月29日(必着)
送付先	〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866 茨城工業高等専門学校 総務課人事・労務係 「教員応募書類(全学科B) 在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却しませんが, 特に返却を希望される方は, 返信用封筒(切手貼付)を同封してください
照会先	副校長(教務主事) 押久保武 E-mail:oshikubo@mech.ibaraki-ct.ac.jp Tel/Fax(029)271-2892
その他	本校Webページ(http://www.ibaraki-ct.ac.jp/)

■公立はこだて未来大学システム情報科学部複雑系知能学科

募集人員	教授または准教授 1名
専門分野	複雑系情報学(計算論, アルゴリズム論, 情報論的学習理論, データマイニングと知識発見, 複雑ネットワーク, 複雑系情報システムなど)
担当科目	プログラミング言語論, アルゴリズムとデータ構造, 形式言語とオートマトン, 複雑系計算論, 情報代数, 離散数学, 応用数学, 確率論, パターン認識, データベース工学などから4科目程度, 専門分野に適合した大学院の科目(複雑系情報システム通論・特論などから1科目)
応募資格	(a) 学位(博士)を有する方(取得見込みを含む), (b) 複雑系情報学分野に関する教育・研究に熱意を持っている方, (c) 当該専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方
着任時期	2012年4月1日
提出書類	(1) 応募分野および応募ポストを明記, (2) 履歴書(現住所, 連絡先(電話番号, E-mailアドレス), 学歴(高等学校卒業以降), 職歴, 研究歴, 所属学会, 学位, 特許, 賞罰を記入), (3) 研究業績リスト(論文, 著書, 職務上の実績(特許など)), (4) 主要論文別刷(合計3編, 各1部, コピー可), (5) 教育実績, (6) これまでの研究概要と今後の研究計画(A4用紙2枚以内), (7) 教育に対する抱負(A4用紙1枚), (8) 照会可能者2名の氏名, 所属, 連絡先(住所, 電話番号, E-mailアドレス)
応募締切	2011年9月29日(必着)
送付先	〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学事務局 企画総務課 「複雑系知能学科 複雑系情報学分野 教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
照会先	複雑系知能学科 学科長 片桐恭弘 E-mail:recruit201103@fun.ac.jp Tel(0138)34-6428
その他	詳細はWebページ(http://www.fun.ac.jp/LinkFrom_topics/recruiting/11_0620_recruit3J.html)をご覧ください

■弘前大学大学院理工学研究科(理工学部電子情報工学科併任)

募集人員	助教 1名
専門分野	電子工学分野
担当科目	電子情報工学実験, 専門分野に適合した大学院の科目, 研究指導に関連した科目, 共通教育科目
応募資格	博士の学位を有するかまたは取得見込みであり, 専門分野の研究業績を有し, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方
着任時期	2012年2月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	(1) 履歴書, (2) 研究・教育業績リスト, (3) これまでに獲得した競争的資金があれば, その状況, (4) 主要論文別刷(3編, コピー可), (5) これまでの研究業績概要(1000字程度), (6) 着任後の研究・教育に関する抱負(1000字程度), (7) 応募者について照会できる方2名の氏名と連絡先
応募締切	2011年9月30日(必着)
送付先/照会先	〒036-8561 青森県弘前市文京町3 弘前大学大学院理工学研究科 電子情報工学コース長 岡本 浩 E-mail:okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp Tel(0172)39-3636
その他	公募詳細Webページ(http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html)を必ずご覧ください

■広島工業大学情報学部情報工学科

募集人員 准教授または助教 1名
 専門分野 コンピュータ(組込みシステムを含む)に関する分野
 担当科目 組込みソフトウェア, オペレーティングシステム, コンパイラ, プログラミング, 情報工学実験など
 応募資格 本学の教育方針を理解し, 教育および研究に熱意のある方。博士の学位を有し(取得見込みを含む), 講義および実験・実習科目を担当でき, 学協会等でも活動されている方。大学院(博士前期課程)の授業および研究指導を担当可能な方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 履歴書, 健康診断書, 推薦書1通または応募者の業績について問合せのできる方2名の氏名・所属・連絡先, 教育研究業績リスト, 主要論文別刷(5編), 着任後の教育に関する抱負(1000字程度)
 応募締切 2011年9月30日(必着厳守)
 照会先 総務部 堀 武彦 E-mail:t.hori.fr@it-hiroshima.ac.jp Tel(082)921-3123
 その他 書類の提出方法および注意事項等について, 本学園Webページ(<http://www.tsuru-gakuen.ac.jp>)で必ずご確認ください

■福岡工業大学工学部電子情報工学科

募集人員 教授, 准教授または助教 1名
 専門分野 電子工学関連分野
 担当科目 電子情報工学専門教育科目(主な担当科目: 回路系, 組込みシステム, 学生実験等)
 応募資格 専門分野に研究業績があり, 次の各項に該当する方, 1)博士の学位がある方, もしくは着任時までに取得見込みの方, 2)大学院の教育・研究指導が可能なる方, 3)実験的研究に業績があり, 教育経験のある方が望ましい, 4)回路系の学生実験を担当できること
 着任時期 2012年4月1日
 応募締切 2011年9月30日(必着)
 提出書類 1)履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), 2)研究業績リスト(著書, 査読付き論文, 国際会議, 紀要等に区分のこと), 3)主要論文別刷(5編程度, コピー可), 4)これまでの主要研究の概要と今後の研究計画(1000字程度), 5)本学における教育ならびに学務に対する抱負(1000字程度)
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
 「電子情報工学部教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は原則として返却いたしません。必要な方は申し出てください
 照会先 電子情報工学科 教授 盧 存偉(ろ ぞんい) E-mail:lu@fit.ac.jp Tel(092)606-3578(ダイヤルイン) Fax(092)606-0726
 その他 本学では, 助教も独立した研究室を持ち研究費も配分されます

■山口大学大学院理工学研究科情報・デザイン工学系学域

募集人員 准教授 1名
 専門分野 ネットワークシステム, 計算機システム, 情報セキュリティ
 担当科目 大学院: ネットワークシステム, 情報セキュリティに関連する実験実習科目
 学 部: 情報工学に関連する講義科目, 実験実習科目
 応募資格 (1)着任時に博士の学位を有する方, (2)上記分野に関する顕著な研究実績を有し, 理論面だけでなく実践面からも研究と教育を推進できる方, (3)上記科目の講義および学部の基礎教育を担当可能で学部・大学院学生の研究指導に十分な能力と熱意のある方
 着任時期 2011年12月1日以降できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 任期期間における研究計画および着任後の教育と研究についての抱負(各1000字程度), 外部資金獲得状況, 学会・社会貢献活動, 応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 2011年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 山口大学工学部知能情報工学科 学科長 多田村克己
 E-mail:tadamura@yamaguchi-u.ac.jp Tel(0836)85-9716 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 その他 【テニュアトラック制】任期5年, 3年目に中間審査実施。テニュア付与が見送られた場合は, 転出等の準備のために最大2年間任期延長可能
 採用年度および次年度にスタートアップ資金を提供します。書類選考の後, 面接(プレゼンテーションを含む)を行います。なお, その際の旅費は, 自己負担となります
 詳細はWebページ(<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/page.php/index/page/id/60>)をご覧ください

■電気通信大学総合情報学専攻

募集人員 テニユアトラック助教 1名
 専門分野 ネットワーク応用(ユビキタスネットワーク, クラウドコンピューティング, Webコンピューティング, インターネットプロトコル, 無線通信プロトコル等)
 応募資格 博士の学位を有し, 上記専門分野において優秀な研究業績のある方. ネットワーク応用システムの開発・運用や研究プロジェクト企画運営の経験を有することが望ましい
 着任時期 2012年2月1日(以降のできるだけ早い時期)
 提出書類 (1)履歴書, 研究業績リスト, (2)主要著書, 論文別刷(5編以内, コピー可), (3)これまでの研究概要(A4用紙2枚以内), (4)今後の研究計画概要(A4用紙2枚以内), (5)今までの教育経験と教育に関する抱負(A4用紙2枚以内), (6)ネットワークあるいはその応用システムの開発・構築・運用や組織横断的な研究プロジェクトの企画・組織・運営に参画した実績を示す文書, (7)参考となる意見を伺える方2名のお名前, 所属, 連絡先住所(E-mailアドレスを含む), および応募者との関係
 応募締切 2011年10月3日(17時必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学 総合情報学専攻事務室(西5-305) 専攻長 太田和夫
 「ネットワーク応用分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留. 併せて, 発送の旨を下記照会先へE-mailによりお知らせください
 照会先 総合情報学専攻 教授 市川晴久 E-mail:h.ichikw@hc.uec.ac.jp Tel(042)443-5142
 その他 詳細はWebページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)をご覧ください

■東海大学情報理工学部情報科学科

募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野/担当科目 コンピュータサイエンスの研究に熱意と専門性を有するとともに, 関連する専門科目を担当いただける方
 応募資格 博士の学位を現に有するか, または着任までに確実に取得できること. 実務または教育の経験者が望ましい. 学部・学科運営に積極的に協力できること
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト, 著書・論文, 学会・学術集会発表(最近5年), 教育・啓蒙活動を記載, (3)主要著書, 論文別刷(5編. コピー可), (4)応募の動機, 本学での教育・研究への抱負(1500字程度), (5)あれば, 推薦書または推薦者の連絡先
 応募締切 2011年10月7日(必着)
 送付先/照会先 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学情報理工学部情報科学科 主任 内藤誠一郎
 E-mail:snaito@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp Tel(0463)58-1211 (ext. 4750または4109)
 「情報科学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 その他 情報科学科Webページ(<http://www.ds.u-tokai.ac.jp>)

■東京電機大学理工学部理学系数理情報学コース

募集人員 准教授または助教(A) 1名
 専門分野 情報科学
 担当科目 画像処理, 情報論などの数理情報学コース専門科目, およびC言語プログラミング, 初年次の基礎的数学についての学部共通, 学系共通科目の講義や演習を担当する. また, 卒業研究, 輪講, さらに大学院の講義と研究指導を担当する
 応募資格 (1)博士の学位を取得していること, (2)学部の教育に熱意を持たれる方, (3)専門分野において独創的な研究を行い得る能力を有すること
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(署名捺印), (2)学位記のコピー, (3)研究業績リスト(審査付き雑誌論文, 審査付き国際会議論文, 著書, 解説, その他の研究発表, 特許などに分類したもの), (4)主要論文別刷(5編程度, コピー可, 各1部), (5)これまでの研究経過と着任後の研究計画(A4用紙1枚程度), (6)教育研究についての抱負(A4用紙1枚程度), (7)推薦状1通
 応募締切 2011年10月7日(必着)
 送付先 〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂 東京電機大学理工学部 理学系 学系長 山形周二
 E-mail:yama@mail.dendai.ac.jp Tel(049)296-5359 Fax(049)296-7072
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募資料は返却いたしません
 照会先 理学系 数理情報学コース 狩野弘之 E-mail:kano@mail.dendai.ac.jp Tel(049)296-5174 Fax(049)296-6403
 または, 数理情報学コース 勝野裕文 E-mail:katsuno@mail.dendai.ac.jp Tel(049)296-5147 Fax(049)296-6403
 その他 【勤務地】埼玉鳩山キャンパス 【任期】准教授の場合は任期はなく, 助教の場合は任期(3年)がある(着任後の審査によって准教授就任の可能性はある)
 ・応募書類により取得する個人情報, 採用者の選考を目的として利用するものであり, この目的以外で利用することはありません
 ・理工学部理学系は, 数学, 物理学, 化学, および数理情報学の4コースから構成されています. 今回, 数理情報学コースに所属する准教授, または助教を公募します
 ・本学では「男女共同参画推進委員会」を設置して, 全学的に男女共同参画の推進に取り組んでおります

■広島市立大学大学院情報科学研究科知能工学専攻

- 募集人員 助教 2名(下記分野(A),(B)各1名)
- 専門分野 (A)知能メディア分野(マルチエージェント学習, データマイニング)
(B)知能ソフトウェア分野(進化的計算, 自然コンピューティング)
- 担当科目 演習科目(基礎演習, プログラミング演習, 数学演習)および実験科目
- 応募資格 博士の学位を有すること(取得見込みも含む)。広島市内またはその周辺に居住できること
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(学位論文, 学術論文, 国際会議論文, 著書, 特許, 学会・社会活動, 教育経験, 外部資金獲得実績など, 分類して記載すること), (3)主要論文別刷(コピー可), (4)研究業績概要(A4用紙2枚程度), (5)着任後の研究計画(A4用紙1枚程度), (6)教育への抱負(A4用紙1枚程度), (7)照会可能な方2名の氏名と連絡先, (8)健康診断書(第二次選考時に必要)
- 応募締切 2011年10月7日(必着)
- 送付先/照会先 〒731-3194 広島県広島市安佐南区大塚東3-4-1 公立大学法人広島市立大学事務局 教育研究支援室 情報科学研究科担当
E-mail:gakubu@office.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1501 Fax(082)830-1656
「情報科学研究科専任教員応募書類(知能工学専攻・「分野名」)在中」と朱書き簡易書留
*「分野名」には知能メディア分野あるいは知能ソフトウェア分野のいずれかをご記入ください *提出書類は選考にのみ使用し, その他の目的に使用することはありません *応募書類は着払いで返却いたします(ただし採用される方については, 返却いたしません)
- その他 第一次選考(書類選考)と第二次選考(面接審査)を実施します。詳細は第一次選考結果発表後に通知します。面接に要する旅費等は応募者の負担となります。選考結果は, 選考が終了次第, 応募者に直接通知します。なお, 各分野の公募情報は下記のWebページから参照できます
(A) (<http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D111070366>)
(B) (<http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D111070364>)

■日本大学工学部情報工学科

- 募集人員 (A)教授または准教授 1名, (B)准教授 1名
- 専門分野 (A)計算機アーキテクチャ, (B)計算機システム・ソフトウェア
- 応募資格 博士の学位を有し, 当該分野の研究・教育を担当できること
- 着任時期 2012年4月1日
- 提出書類 ①履歴書(連絡先とE-mailアドレスも明記), ②研究業績リスト(著書, 査読付き論文, 国際会議, 特許等に区分), ③主要論文別刷(5編程度, コピー可), ④これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), ⑤教育・研究に関する抱負(A4用紙1~2枚程度), ⑥本人に関する所見を求め得る人(2名)の氏名とその連絡先(所属, 住所, 電話, E-mailアドレス)
- 応募締切 2011年10月20日(必着)
- 照会先 工学部情報工学科 主任 西園敏弘 E-mail:nishizono@cs.ce.nihon-u.ac.jp Tel(024)956-8822
- その他 詳細はWebページ(<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/joho/index.html>)をご覧ください

■静岡理科大学総合情報学部コンピュータシステム学科

- 募集人員 講師または准教授 1名
- 専門分野 コンピュータ組込みシステム(主にソフトウェア)に関連する分野
- 応募資格 (1)関連する専門分野の博士(またはPh.D.)またはそれに準ずる資格・経歴を有する方, (2)「組込みシステム」およびコンピュータ関連科目(特に, コンピュータネットワーク関係)の講義と情報処理関連分野のセミナー, 実験指導, 卒業研究指導ができ, 熱意を持って学生の教育に当たることができる方, (3)本学の理念に賛同し, 私立大学での教育, 研究, 社会貢献に理解がある方, (4)大学院修士課程の教育と研究指導ができる方
- 着任時期 2012年4月1日
- 応募締切 2011年10月28日
- 照会先 コンピュータシステム学科長・教授 鈴木千里 E-mail:suzuki@cs.sist.ac.jp Tel(0538)45-0205(直通)
- その他 詳細は本学Webページ(<http://www.sist.ac.jp/>)を参照ください

■茨城工業高等専門学校電子情報工学科

- 募集人員 教授、准教授、講師のいずれか 1名
 専門分野 情報工学
 担当科目 アルゴリズム、言語理論、符号理論、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、学生実験(情報工学系の内容)、卒業研究などの授業のいくつかを担当していただく予定です。また、微分・積分などの基礎的な数学科目を担当していただく場合もあります
 応募資格 (1)学生の教育・指導に熱心で、研究と両立可能な方、(2)博士もしくはPh.Dの学位を有する方または採用日までに取得の方
 着任時期 2012年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(市販用紙に準じる形式のもの、ワープロ可)、(2)研究業績リスト(著書・論文・口頭発表等に分類)、(3)主要論文・著書(3~5編程度、各1部、コピー可、共同執筆の場合は分担箇所を明示)とその概要、(4)教育業績リスト(教育経験のある方)、(5)企業実績リスト(企業経験のある方)、(6)着任後の教育・研究および学生指導に対する計画・抱負(2000字程度)、(7)英語力を示すもの(在外経験の有無、TOEIC得点、TOEFL得点など)、(8)照会できる方2名の氏名と連絡先
 応募締切 2011年10月31日(必着)
 送付先 〒312-8508 茨城県ひたちなか市中根866 茨城工業高等専門学校 総務課人事・労務係
 「電子情報工学科教員応募」と朱書し簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません、特に返却を希望される方は、返信用封筒(切手貼付)を同封してください
 照会先 電子情報工学科教授 四王天正臣(シオウデン マサオミ)
 E-mail:shioden@ece.ibaraki-ct.ac.jp Tel(029)271-2955 Fax(029)273-3771
 その他 本校Webページ(<http://www.ibaraki-ct.ac.jp/>)

■鳥取大学大学院工学研究科

- 募集人員 教授 1名
 所属 情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座
 専門分野 知能制御工学に関する分野
 担当科目 (大学院)知能制御工学に関する科目
 (学部)知能制御工学に関する科目および数学、物理学などの基礎科目
 応募資格 (1)博士の学位を有すること、(2)専門分野に関する十分な研究業績を持ち、教育、研究および専攻運営に熱意があり、大学院博士後期課程を担当できること
 着任時期 2012年4月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 (1)履歴書(本学Webページ(下記)の様式1)、(2)教育歴(様式2)、(3)研究歴(様式3)、(4)その他の活動歴(様式4)、(5)着任後の抱負(様式5)、(6)研究業績リスト(様式6-1)、(7)所見を伺える方2名の照会先または推薦状(2通)、(8)主要論文別刷(5編程度、コピー可、査読付き)
 応募締切 2011年10月31日(必着)
 送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻知能情報工学コース長 北村 章 E-mail:kitamura@ike.tottori-u.ac.jp Tel/Fax(0857)31-5211
 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留または宅配便
 *原則として提出書類は返却いたしませんのでご了承ください
 その他 公募の詳細については、必ずWebページ(<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>)を参照すること
 【選考方法】専攻内選考(1次:書類審査、2次:面接(プレゼンテーションを含む))および研究科内選考

■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科

- 募集人員 助教 1名(任期付き・再任制度あり)
 所属 サービス知識領域
 専門分野 知識科学の領域において、フィールド調査・データ解析等の分析的方法とプロセス設計・モデリング等の合成的方法を融合することで、サービスイノベーションの方法論的基礎の確立と応用を目指す、サービス科学に関する教育・研究分野
 応募資格 着任時に博士の学位を有し、テーマの国際性、学際性に富む上記分野の教育および研究に熱意を有する方で、日本語、英語を使っているグローバルコミュニケーション能力のある方
 着任時期 2012年4月1日以降できる限り早い時期
 提出書類 履歴書、業績リスト(研究論文を、学術論文、国際会議(査読有・無)、著書等に区別、年代の逆順(最近のものから過去にさかのぼる形)で列記してください。また、学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献も含めてください。科研費等の外部資金獲得、受賞、特許出願など選考の参考になる事項についても列記してください)、主要論文別刷(3編、コピー可)、主たる研究概要と任期中の研究計画(4000字程度)、教育に対する抱負(2000字程度)、応募者本人の連絡先(郵便宛先とE-mailアドレス)、推薦書2通、または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mailアドレス)
 応募締切 2011年12月1日(必着)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 小坂満隆
 E-mail:ks-dean@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1152(研究科長秘書) Fax(0761)51-1149(研究科共通事務室)
 「教員応募書類在中(サービス知識領域・助教)」と朱書し簡易書留
 その他 本学に関する情報については、Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>)をご覧ください

FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2011Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/10jigy/fit/fit2011/>

共 催 : 情報処理学会, 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ/ヒューマンコミュニケーショングループ
協 賛 : 函館大学, 函館短期大学, 公立はこだて未来大学
後 援 : 函館市, 函館国際観光コンベンション

情報処理学会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、来る2011年9月に第10回目を函館大学・函館短期大学で開催致します。皆様、奮って御参加下さい。

聴講参加を御希望の皆様は、会場の総受付にお越し頂き、聴講参加費をお支払いのうえ御参加下さい。

会 期 : 2011年9月7日(水)～9日(金)
会 場 : 函館大学・函館短期大学(北海道函館市高丘町51-1)
交 通 : 函館空港からタクシーで10分程度
函館駅周辺からは市電、バスを乗り継ぎ50分程度
※会場アクセスの詳細は以下のページをご確認ください。
<http://www.ipsj.or.jp/10jigy/fit/fit2011/access.html>
※お車での御来場は御遠慮下さい。

■聴講参加費(税込)

参加区分	参加費
正会員	10,000円(プログラム・参加章・DVD-ROM)
非会員	20,000円(プログラム・参加章・DVD-ROM)
学 生	無料(プログラム・参加章)

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

会 員 : 情報処理学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI) または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(IEEK, KICS, KIISE, IEEE/Com. Soc., IEEE/PHO, IEEE/MTS, IEEE/CS) の個人会員に限ります。

非会員 : 上記の学会会員以外の方。

学 生 : 会員/非会員を問わず無料(DVD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格(税込)

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	12,000円	15,000円
DVD-ROM	8,000円	55,000円

※セットには、DVD-ROM、セットカバーが付きます。

※DVD-ROM学割会場販売価格4,000円。

※会期中も講演論文集、DVD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますのであらかじめ御了承下さい。

■講演論文集の内容(分野)

第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング, ソフトウェア, ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊: データベース, 自然言語・音声・音楽, 人工知能・ゲーム, 生体情報科学

第3分冊: 画像認識・メディア理解, グラフィクス・画像, ヒューマンコミュニケーション&インタラクション, 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊: ネットワーク・セキュリティ, ユビキタス・モバイルコンピューティング, 教育・人文科学, 情報システム

DVD-ROM: 上記全論文とプログラムを収録

(著者, 所属, キーワードによる索引付き)

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へ掲載されます。

■懇親会

開催日時: 9月8日(木) 19:00～21:00

会 場 : 金森赤レンガ倉庫「金森ホール」

参加費 : 一般(正会員・非会員) : 5,000円

学生 : 2,000円

※FIT2011会場の函館大学から懇親会会場までは送迎バスで移動いたします。

■開催イベント企画(詳細はFIT2011Webサイトを御覧下さい)

◎FIT創設10周年記念特別講演 [イグ・ノーベル賞受賞者]

7日 13:00-14:15 第1イベント会場(函館大学2F 262大講義室)
「粘菌の行動知 ～原始生命システムの自律分散情報処理～」
中垣 俊之(公立はこだて未来大学 教授)

◎船井業績賞受賞記念講演 [ASIMOの生みの親]

8日 14:00-15:15 第1イベント会場(函館大学2F 262大講義室)
「人との共存を目指すヒューマノイドロボットの開発
～優しく頼もしいパートナーを目指して～」
広瀬 真人(本田技術研究所基礎技術研究センター 主席研究員)

◎FIT学術賞表彰式

8日 13:00-13:50 第1イベント会場(函館大学2F 262大講義室)
FIT2010ヤングリサーチ賞 表彰式
FIT2011論文賞 表彰式
FIT2011船井ベストペーパー賞 表彰式
FIT2011船井業績賞 表彰式

◎イベント企画

第1イベント会場(函館大学 2F 262 大講義室)
7日 9:30-12:00 やさしく分かる機械学習の最前線
～データから意味を読み取る～
7日 14:30-17:30 地域医療と異文化コラボレーション
8日 9:30-12:00 サイバーテロの実情と対策
～身近になりつつあるサイバーテロの脅威～
8日 15:30-17:30 学習環境のクラウド化とパーソナル化
9日 9:30-12:00 クラウド時代における知的社会基盤のサステナビリティを考える
9日 13:00-16:00 そこそこセキュリティ
～必要なレベルで適切なセキュリティ対策を提供するには～

第2イベント会場(函館大学 3F 301 講義室)
7日 9:30-12:00 気になる最近の計算幾何学の話から
7日 14:30-17:30 第15回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
8日 9:30-12:00 サイバーフィジカル情報革命
～情報爆発から価値創造へ～
8日 15:30-17:30 EMMが目指すマルチメディア情報処理の未来
9日 9:30-12:00 実践が拓く情報処理の次なるステップ
～デジタルプラクティスの試み～
9日 13:00-16:00 サイバーワールドとリアルワールドとの接点
～農業・漁業とサイバーワールド～

■問い合わせ(FIT2011幹事学会)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 事業部門
TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375
E-mail: jigyo@ipsj.or.jp

■次年度のFIT2012開催(予定)

会 期 : 2012年9月4日(火)～6日(木)

会 場 : 法政大学理工学部 小金井キャンパス(東京都小金井市)

CONTENTS

Preface

Deployment
Jun MURAI (Keio Univ.)

1056 Let Us Collect and Preserve All the Records of the Great Disaster
Makoto NAGAO (National Diet Library)

Special Features

Crisis Responses to the Great East Japan Earthquake

- 1060 0. Foreword
Takehiro TOKUDA (Tokyo Institute of Technology)
- 1062 1. Fixed Telephone Network and Communication Service Primary Action for East Japan Great Disaster
Toshikazu KOIDE (NTT-ME Corp.)
- 1064 2. Mobile Phone Earthquake Response
Yoshiaki NANJO (KDDI Corp.)
- 1066 3. Emergency Restoration of Communications Infrastructure - Towards Rapid Services Recovery -
Masashi KAWANO (Nippon Telegraph and Telephone EAST Corp.)
- 1068 4. Post Disaster Recovery Internet
Keisuke UEHARA (Keio Univ.) and Masafumi OE (National Astronomical Observatory of Japan)
- 1070 5. Live Streaming - Information Distribution after the Earthquake by Live Streaming -
Tomoya NORO (Tokyo Institute of Technology)
- 1072 6. Earthquake and Social Networks
Haruhiko OKUMURA (Mie Univ.)
- 1074 7. Web Portal Action for East Japan Earthquake
Kimihiko SATO (Yahoo Japan Corp.)
- 1076 8. Cloud Resource Providing and Assistance Program in Disaster
Hiroshi ABE (Internet Initiative Japan Inc.)
- 1078 9. Smartphone Applications at the Time of Crisis
Ken WAKITA (Tokyo Institute of Technology)
- 1080 10. How Did Media Report The Earthquake? - Broadcasting, Newspaper, and Publication -
Hiroyoshi USUI (Sophia Univ.)
- 1082 11. Local Government Crisis Response and Information Technologies
Takehiro TOKUDA (Tokyo Institute of Technology)
- 1084 12. Emergency Activity for Information Systems of the Graduate School of Engineering, Tohoku University, under the Great East Japan Earthquake
Akinori ITO, Hiroko BANDA and Koichi ANZAI (Tohoku Univ.)
- 1086 13. Earthquake Early Warnings and Tsunami Warnings ; How was Disaster Prevention Information Accepted?
Kiyoshi TAKANO (The Univ. of Tokyo)
- 1088 14. Radiation Dosimetry and Simulation of Radioactive Cloud
Shin-ya NISHIZAKI and Takehiro TOKUDA (Tokyo Institute of Technology)
- 1090 15. Robots for Post-disaster Recover and Reconstruction and for Nuclear Power Plant Accidents
Hiroshi G. OKUNO (Kyoto Univ.)

Modern Internet is coming to Our Life 'Episode 1 : Infrastructure'

- 1093 0. Foreword
Yoshifumi ATARASHI (ALAXALA Networks, Corp.), Tomohiro FUJISAKI (NTT Information Sharing Platform Labs.) and Ray ATARASHI (IJI Innovation Institute Inc.)
- 1094 1. The Vision of Modern Internet
Yoshifumi ATARASHI (ALAXALA Networks, Corp.) and Tomohiro FUJISAKI (NTT Information Sharing Platform Labs.)
- 1096 2. Brief Overview of the Internet
Akimichi OGAWA (A Tech Blogger)
- 1100 3. IPv4 Address Exhaustion and the Diffusion of IPv6
Akinori MAEMURA (Japan Network Information Center (JPNIC))

- 1104 4. IPv6 Application
Ruri HIROMI (Keio Univ. / INTEC Inc.)
- 1108 5. How to Support IPv6 on Your Web Services
Tetsuji KOYAMA (Hoge Tech, LLC / Japan UNIX Society)
- 1112 6. Network Systems Construction
Yoshiaki KITAGUCHI (Kanazawa Univ.)
- 1116 7. Issues in Implementing IPv6 Network Services
Tomohiro FUJISAKI (NTT Information Sharing Platform Labs.) and Yoshifumi ATARASHI (ALAXALA Networks, Corp.)

Software Patterns - The Timeless Way of Software -

- 1117 0. Foreword
Hironori WASHIZAKI (Waseda Univ.)
- 1119 1. Software Patterns Overview
Hironori WASHIZAKI (Waseda Univ.)
- 1127 2. From Pattern Languages to Software Patterns
Koichiro ETO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 1134 3. Specification of Security Knowledge : Security Patterns
Nobukazu YOSHIOKA (National Institute of Informatics)
- 1140 Industrial Practices for Pattern Oriented Software Development
Mari INOKI (Toshiba Solutions Corp.)
- 1142 4. Introduction to Pattern Language to Project Language
Masanari MOTOHASHI (CultureWorks / Tokyo Institute of Technology), Eiti HANYUDA (Mamezou) and Takeshi KAKEDA (CultureWorks)
- 1151 5. Pattern Language 3.0 : New Objects, Uses, and Making Processes
Takashi IBA (Keio Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 1157 Information Technology and Power Saving
Yoshihiro TOHMA

Articles

- 1158 Brief Introduction to DNSSEC - Security Extension for DNS Operators -
Takeshi MITAMURA and Shinta SATO (Japan Registry Services Co., Ltd. (JPRS))
- 1166 Examples of Activities in the Background of the Field Test "Tsukuba Challenge" and Autonomous Mobile Technologies to Finish the Test
Kenjiro YAMAMOTO (Hitachi, Ltd.), Tsuyoshi OKUBO (Tsukuba City Hall), Yukihiro ONO and Yoshitaka HARA (Hitachi, Ltd.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 1174 Oral History : Interview with Dr. Hosaka Mamoru
Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Osamu UDA (Nihon Univ.), Chigusa KITA (Kansai Univ.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

"Peta-gogy" for Future

- 1181 What You Can See by Assembling Jigsaw Puzzle Pieces?
Tetsuro KAKESHITA (Saga Univ.)
- 1182 Development of Basic Operative Skills for IT Specialists : Undergraduate Education Program in Hosei University
Katunobu ITOU (Hosei Univ.), Suguru ARAKAWA (Gluegent, Inc.), Yasunari ZEMPO and Satoru FUJITA (Hosei Univ.)
- 1191 Programming Education Using Lisp at Kyoto University
Taiichi YUASA, Hiroshi G. OKUNO and Tetsuya OGATA (Kyoto Univ.)

Column : "I" Report

- 1196 Deploying IPv6 - Essence of the IPv6 Local Summit -
Tomohiro FUJISAKI (NTT Information Sharing Platform Labs.)

ご意見をお寄せください!

【9月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5209.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

(1) ご氏名	
(2) ご所属	Tel. () -
(3) E-mail:	
(4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など) (e) 学生 (f) その他	4- []
(5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など) (i) 学生 (j) その他	5- []
(6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上	6- []
(7) 性別: (a) 男性 (b) 女性	7- []
(8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ	8- []
(9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合: (a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない	9- []
(10) 今月号 (2011年9月号) の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。 [a…大変よい b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]	
巻頭コラム: 展開	10-1- []
大震災の記録保存に努力しよう	10-2- []
特集: 東日本大震災 危機発生時の対応について考える	
1. 固定電話と通信サービス	10-3- []
2. 携帯電話の震災対応	10-4- []
3. 通信インフラの応急復旧	10-5- []
4. 震災復興インターネット	10-6- []
5. ライブストリーミング	10-7- []
6. 震災とソーシャルネットワーク	10-8- []
7. ポータルサイトの東日本大震災対応	10-9- []
8. 震災時のクラウド提供と支援活動	10-10- []
9. 危機に試されるスマートフォンのアプリケーション	10-11- []
10. 震災報道 メディアはいかに伝えたか	10-12- []
11. 地方自治体の危機対応と情報技術	10-13- []
12. 東日本大震災時の東北大学工学研究科の対応	10-14- []
13. 緊急地震速報・津波警報	10-15- []
14. 放射線量測定・放射性物質拡散シミュレーション (独, 仏, 日本)	10-16- []
15. 災害復旧支援・原子力事故対策ロボット	10-17- []
特集: 新しいインターネットがやってくる—基盤編—	
1. 新しいインターネットのビジョン	10-18- []
2. 最近のインターネットの仕組み	10-19- []
3. IPv4 アドレス在庫枯渇と IPv6 の普及	10-20- []
4. IPv6 アプリケーション	10-21- []
5. Web サービスを IPv6 対応にするには	10-22- []
6. ネットワークシステム構築	10-23- []
7. コラム: IPv6 サービス利用時に発生する課題について	10-24- []
小特集: ソフトウェアパターン	
1. ソフトウェアパターン概観	10-25- []
2. パターンランゲージからソフトウェアパターンへ	10-26- []
3. セキュリティの知識を共有するセキュリティパターン	10-27- []
コラム: 企業におけるパターン指向ソフトウェア開発の実践	10-28- []
4. これからの みんなのことば、みんなのかたち	10-29- []
5. パターンランゲージ 3.0	10-30- []
IT 好き放題: IT と節電	10-31- []
DNSSEC 解説	10-32- []
実証実験「つくばチャレンジ」の背後にある取り組みの事例と完走するための自律移動技術	10-33- []
古機巡礼/二進伝心: オーラルヒストリー 穂坂 衛氏インタビュー	10-34- []
べた語義: コラム: ジグソーパズルのピースを組み合わせると	10-35- []
べた語義: 高度情報処理技術者の基礎力育成を目指した学部教育	10-36- []
べた語義: 京大における Lisp を使ったプログラミング教育	10-37- []
"I" 見聞録: IPv6 普及推進と IPv6 Summit	10-38- []
学会活動報告: 情報技術の国際標準化と日本の対応	10-39- []

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
〔11-2〕 選んだ理由 (下記から, いくつでも選択可)..... 11-2- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
〔12-2〕 選んだ理由 (下記から, いくつでも選択可)..... 12-2- []
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に下記にご記入ください)

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について, その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見や感想, 著者への質問, 巻頭コラムに登場してほしい人物, 今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

読後のご意見をお送りください

本誌では, 現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが, より多くの読者の皆さんからのご意見, ご提案をおうかがいし, 誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので, 毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき, 奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

「特集：東日本大震災 危機発生時の対応について考える」の編集作業がはじまったのは余震が続く4月上旬の東京である。編集委員の中には、震災を体験している人、体験していない人、危機対応中の人などがいた。できあがった特集案に基づき、執筆者探しを実際にはじめると、もちろん執筆を引き受けてくださる方もいらしたが、多くの候補者に執筆を断られてしまった。現時点での公式見解は不可とか、現在危機対応中で無理といった事情からである。期限までにととうとう執筆者を見つけることができない項目も出た。5月はじめになり、執筆者の原稿作成作業がはじまった。ほとんどの執筆者は

5月末まで予定通りに完成してくださった。しかしながら1項目の原稿は完成せず、今回の特集に収録できなかった。「情報処理」の特集編集を担当させていただいたのは、1983年4月号「アルゴリズムの最近の動向」以来28年ぶりである。当然のことながら、特集の編集作業方式はずいぶんと変わっていた。最後に本特集の執筆者で原稿料について辞退や義援金寄付を申し出ている方がいることを申し添えておきたい。この特集が今後の危機対応の改善に少しでも役立つことになれば幸いである。

(徳田雄洋／本特集エディタ)

今回の特集は、急激に発展しインフラ化したために、実態が分りにくくなっているインターネットの基盤技術について、タイムリーな記事をだそうと苦労しました。企画を進めている間にも新しいニュースは続き、IANA IPv4 アドレス在庫が枯渇して各RIRへの最後の分配式典が行われ、止まらないアジアのIPv4アドレス消費によって、ついにAPNICのIPv4アドレス在庫がなくなりました。各通信事業者はIPv6サービスを開始し、6月8日には世界的なIPv6の実用実験とされるWorld IPv6 Dayが実施されました。何か悪いことが

起きるかもという報道がありましたが、結果は2000年問題と同様に特に混乱はありませんでした。あの3月11日もIPv6関係者はWorld IPv6 Dayの準備の真っ最中でした。6月に開催されたINTEROP2011東京での講演ではIPv6関係はすべて満席という注目度だったそうです。この特集で、インターネットは新しい環境整備が必要になってきていることをお伝えできれば幸いです。

(新 善文／本特集ゲストエディタ)

学生時代、友人が足しげく通う集まりへ試しに出てみたのが運のつき、ソフトウェアパターンとつかず離れず今に至ります。妻と付き合い始めのころ、デートに出かける先はパターンランゲージでつくられた東野高校でした。パターンに魅せられたというよりも、パターンに集う人々、とりわけその人々が持つ建築、哲学、計算機科学といった多様な知性・教養に魅せられたというのが正確なところ。そのような個人的経緯もあり、この小特集では特定の方向にはあえてせまらず、ソフトウェアパターンの多面的な側面や関連分野をそのままに解説させていただくスタイルをとりました。人々の携わる活動には「AならばB」とロジカルには割り切れない何かがあって、その難しさに悩む人々が集まり散じる分野横断的な場をパターンは自然と生み出していると感じます。「銀の弾丸はない」情報システムやソフトウェアの開発にあって、パターンは現実的な解を見出す無限の可能性を秘めており、アジャイル開発といったムーブメントを生み出してきました。その生き生きとした現在進行形の様子のご快諾いただいた執筆者の皆様、事務局、編集委員会、関係者の皆様にお礼申し上げます。

(鷲崎弘宜／本小特集ゲストエディタ)

暗黙知を形式知化、共有、再利用するための手法の1つがパターンです。日頃のソフトウェア開発の現場において、「若手に設計の考え方を伝達する」または、「ベテランの設計方法を知る／参考にする」には、パターンが大変有効であると実感しています。こうしたパターンの有効性を読者に伝えたいと思い、2010年秋に小特集を企画しました。企画実行に当たり、ソフトウェア開発にとどまらずさまざまな視点からパターンを研究開発されている鷲崎氏にゲストエディタを依頼したところ、快く引き受けてくださいました。そして、今回のような最適な執筆者陣を編成してくださいました。

この小特集を編集することを通して、パターンの有効性、奥深さをさらに知ることができました。ITにかかわるあらゆる読者の方にぜひに少しでも役立つ内容になればと願っています。

この場をかりて、エディタを引き受けてくださった鷲崎氏、ご執筆者の方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(位野木万里／本小特集エディタ)

次号 (10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」高度 IT 人材育成の軌跡— IT トップガン構想から先導的 IT スペシャリスト育成まで

座談会：高度 IT 人材育成の10年／寄附講座設置による高度 IT 人材育成への取組み／文部科学省における高度 ICT 人材育成—先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム—筑波大学「高度 IT 人材育成のための実践的ソフトウェア開発専修プログラム」の「これまで」と「これから」／OJL：産学連携による新しい人材育成の試み／産学連携による高度 ICT 人材育成に関する九州大学の取組み／高度 IT 人材育成のこれまでの総括と今後求められる人材に向けた政策の方向性について／IPAにおける産学連携 IT 人材育成の取り組み～次代を担う高度 IT 人材の継続的な育成に向けて～／高度 IT 人材の資格制度

「特集」研究会推薦博士論文速報

解説：省メモリのための新たなアルゴリズム設計技法：制限された作業用メモリでアルゴリズムをいかに設計するか（前編）

浅野哲夫

デジタルサイネージの最新動向

藤本仁志

道しるべ：ロボカップ道しるべ

教育コーナー：べた語義

コラム：“I” 見聞録／巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 52巻9号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表2 富士通……………表4
 オーム社……………表2対向 三菱電機インフォメーションテクノロジー……………表3
 サイエンス社……………目次前

すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTTドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな？

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし！
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう！

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp